

# 【ファーストステップFX】

## Part1 一流トレーダーへの 道を進む為に

### 第3章

## 投資の世界を知る

株式会社チャートマスター

## ❖はじめに

### 【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリック出来ます。出来ない場合は最新の AdobeReader をダウンロードして下さい。(無料)

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

### 【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等する事を禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものである為、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部を如何なる手段においても複製、転載、流用、転売等する事を禁じます。

著作権等違反の行為を行なった時、その他不法行為に該当する行為を行なった時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行なう等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行なう場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行なう権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わない事をご了承願います。

このレポートを利用する事により生じた如何なる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わない事をご了承願います。

目次

※目次の見出しをクリックすると、その見出しのページに移動します。

❖ 第3章：(1) —— ハンディキャップのない投資の世界！ ——	4
❖ 第3章：(2) —— カモでバカなのは誰だ？ ——	5
❖ 第3章：(3) —— 一体、何が高くて何が安いんだ！？ ——	7
(1) ファンダメンタルズ分析による高い・安い	8
(2) テクニカル分析による高い・安い	9
(3) 心理面での高い・安い	10
❖ 第3章：(4) —— 投資で儲ける為の三原則 ——	12
◎マインド (M i n d)	13
◎知識 (K n o w l e d g e)	15
◎技術 (T e c h n i c a l)	17
❖ 第3章：(5) —— 相場で儲けられる人と儲けられない人の違いとは？ ——	18
◆儲けられない人	19
◆儲けられる人	20
❖ 第3章：(6) —— 投資を始める前に知っておくべき失敗例とアドバイス ——	21
<失敗例1> 「いつかは戻る」と損切り出来なかった	22
<失敗例2> 高いレバレッジで全力勝負した	23
<失敗例3> 言われるがままトレードしていた	24
❖ 第3章：(7) ☆★☆☆ 第3章のまとめ ☆★☆☆	25

❖ 第3章：(1) —— ハンディキャップのない投資の世界！ ——

相場の世界は、ゴルフのようなハンディキャップ戦というものはありません。

その為、昨日始めたばかりの初心者でも、相場に参加する事が出来ます。相場という市場は世界最大の市場でもあり、この市場では、色々な考え方の投資家が参加しています。

- ・大手ヘッジファンド
- ・金融機関
- ・FX取引ブローカー

などなど…。

彼らは資金・情報・専門分野に特化したスタッフ等を取り揃えており、そんな彼らと同じフィールドで競い合えるのが相場の世界の特徴です。

ところが、ハンディキャップがないという事は、初心者ラウンジもないという事です。誰でも参加する事が出来るまでが公平な世界であり、その他の、参加者が潜在的に持っている資金量、知識、技術、経験、環境に至るまで、何一つ公平なものはなく、不公平で不均衡な歪みの上でゲームを繰り広げています。

そんな中、相場においては不思議な事に、初心者でもビギナーズラックを発揮して、一時的に儲かる事もあります。

しかし先に述べたように、参加するまでは公平ですが、長期的には生き残るに値する投資家しか生き残れないという、非常に厳しい世界でもあるのです。

彼らはあなたの貴重で貴重で仕方がないお金を、無情に、そして無慈悲に、奪い去って行ってしまいます。そういう世界に自分達は向かって行こうとしている事を理解しておきましょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第3章：(2) —— カモでバカなのは誰だ？ ——

相場に参加する上で、たった一つの共通した考え方が、自分をマーケットに繋ぎ止めています。それは、「**お金を儲ける事**」これの他にはありません。

誰もが自分のお金が減るのを望んでマーケットに参加したりしません。誰もが夢や希望を持ってトレードに参加しているのです。



ところが、この世界はゼロサムゲームなのです。つまり、お金が増えるか、ゼロになるかの2つに1つなのです。このゲームの世界では、自分の利益は他人の損失の一部であり、自分の損失は他人の利益の一部なのです。

実はこの世界の中では、「**2：8の法則**」が当てはまって来ます。

※ 「2：8の法則」とは？

「イタリアのパレートという経済学者が発見した、19世紀のイギリスにおける所得と資産分布を調査した所、20%の富裕層にイギリス全体の資産総額の80%が集中し、この現象は継続して繰り返されるという法則の事。パレートの法則とも言う。」

サム (SUM・合計) がゼロ (ZERO・零) になるゲームにおいて、常に勝者は 2 割、敗者が 8 割になるのです。これは市場にとってどう転んでも変わらない現実なのです。

何故、儲かっていると言う人は少なく、損をしている人が数多く存在するのかは、そういった理由があるからなのです。マーケットの参加者は、「全員」が資金の増加を願って参加し、「8 割以上」が資金の減少を経験し、撤退して行く。

というのが現実です。

「誰がカモか分からなければ、そのゲームでは、自分がカモ」

ー ウォーレン・バフェット ー

「トレーディングを成功させる能力とは、2つの欠点を持つ人を探す能力である。つまり、その能力は割安な値段で売ってくれる人と、割高な値段で買ってくれる人を探す能力、言い換えれば馬鹿を探す能力である」

ー プリスティーン・デイトレーダー社主幹 オリバー・ベレス ー

誰でも最初は、明らかに「カモ」で「バカ」なのです。「カモ」にも「バカ」にもならない為には、何をどうすべきか知り、少しずつ成長するしかありません。

同じフィールドには大手ヘッジファンドやプロのトレーダーがいます。その事を忘れないで下さい。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第3章：(3) —— 一体、何が高くて何が安いんだ！？ ——

FXで勝つ為にはどうしたら良いのでしょうか？

この答えは呆れる程、単純明快です。

「**適当なタイミングで買って、より高く売り、  
適当なタイミングで売って、より安く買う**」

**これが非常に大切**です。

ところが、いわゆるファンダメンタルズ分析や、テクニカル分析に基づいて投資の判断をしても、投資初心者は高く買って、安く売ってしまいます。

つまり、負ける事が多いのです。これは一体、何故でしょうか？

それにはそもそも、相場において高い・安いとは、一体、どういう状態の事だろう？、と考える必要があります。

その高い・安いを判断する方法を3つ、以下に挙げました。

[▲目次へ戻る▲](#)

## (1) ファンダメンタルズ分析による高い・安い

ファンダメンタルズ分析とは、景気や国際環境等の外部環境を基にして、相場が上がるか下がるかを考える分析方法です。

例えば、日本は諸外国と比べて経済的に優秀だという思惑を基に、それならばこの国は価値が高いから、円の価値も上がるだろう。故に、円は高くなるだろう…というように考えて行く事が出来る訳です。



但し、問題なのは、実際にこのような考えで高い・安いの判断を下そうとしても、人によって、その基準が変わって来る点です。

つまり、ある人から見たら経済的に優れていると見えるかも知れませんが、また別の人が見たら、借金が多く、とても価値があるとは思えない、と考えてしまう事もあるのです。

ファンダメンタルズの基になっている情報をどう読み取るかで、価値があると考える人もいれば、価値がないと考える人も出て来る訳です。

これでは、情報に惑わされてしまい、実際に何が安くて何が高いのか、それを使って売買するタイミングが掴みにくいという事が分かるかと思います。

[▲目次へ戻る▲](#)



## (2) テクニカル分析による高い・安い

テクニカル分析とは、簡単に言うと、過去の統計を基にした分析方法です。それをチャートに当てはめて、売買判断を下して行きます。その際の、高い・安いという判断は、チャート上のどの位置にいるかで判断して行きます。

ところが、その基準は、短期・中期・長期と言った時間軸の見方によって、高い・安いの判断基準が変わって来ます。

例えば、1日1回のトレードをするトレーダーが何を見るかと言うと、日足チャートを見ます。その日足チャートを見渡した所、今のレートが随分安い位置にあるようだと判断したとします。

ですから、今買っておこうか…と考える訳です。

ところが、毎日、何十回というトレードをするトレーダーは、もっとずっと短い時間足、例えば15分足等を判断材料としてトレードを行いません。その時、15分足を見渡す事で、現在のレートが随分高い位置にあるようだと判断を下す事もあります。

このように、日足チャートを利用しているトレーダーと、15分足を利用しているトレーダーでは、割安、割高の基準が違うのです。

それがたとえ、見ているタイミングが同じだとしても…誰でもテクニカル分析を使えば割高・割安が分かるというものではありません。

具体的にどの時間足を使って、どういったテクニカル分析をすれば、そのレートが割安なのか、割高なのかを判断出来るのか、それを知らなければ、トレードで儲ける事は困難だという事が分かります。

[▲目次へ戻る▲](#)

### (3) 心理面での高い・安い

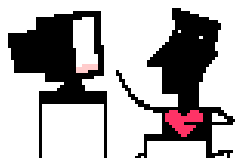
ファンダメンタルズ分析、テクニカル分析以外に、心理面での高い・安いが相場における投資家の判断・行動に影響を与える事も少なくありません。

心理面が影響を与えるとはどういう事でしょうか？そもそもこれは人間の行動心理学に基づいて考えられます。

#### 人が行動する根源的な理由は「感情」です。

相場は上昇と下降を繰り返して行く訳ですが、例えば、目の前で相場が上昇している時、人は強く感情が揺さぶられます。何故なら、もし仮に今ポジションを持てば、このまま上昇して行き、かなりの利益を上げる事が出来るんじゃないだろうか？、と期待してしまうからです。

その期待は、とてもワクワクするものです。



逆に今まで高かったものが、安くなって来たらどうでしょうか？

1,000円で買ったシャツが500円で買えるようになったら、誰も安いと考えますよね？相場も同じで、前のレート（値段）と比べて現在はレートが下がってれば、つい、安いと考えてしまうのです。

問題は、投資はシャツの値段とは違って、毎日、フレキシブルに価格が変動します。

すると、500円で安いなと思っていたとしても、次の日、更に下がって400円になる…、という事も当然のようにある訳です。これでは、一体、幾らが安くて、幾らが高いのかなんて分かりません。

## 【ファーストステップFX】 Part1 第3章 投資の世界を知る

今、一体、どうなっているのか分からない中で売買をしてしまう為、何も分からないまま、ただお金だけが減って行ってしまうのです。

以上、3つを挙げましたが、テクニカルによる過熱感・買われ過ぎ感が「高い」と言われる事も、テクニカルの冷え込み・売られ過ぎ感が「低い」、「安い」と言われる事もあります。

どの解釈も表現も、一概に全て正しいとも間違っているとも言い切れない所が、相場の難しくも面白い所でもあるのです。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第3章：(4) —— 投資で儲ける為の三原則 ——

マラソンで例えるなら・・・42.195km を走り切る為には、走り切れる体力が必要です。植物で例えるなら・・・草木が育つ為には、大地がないと育ちません。

それと同じで、投資で儲ける為には、なくてはならないモノがあるのです。

それは、「**マインド**」、「**知識**」、「**技術**」です。

それらを合わせて「投資で儲けるための三原則」と呼んでいます。  
それぞれ具体的に説明して行きましょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

## ◎マインド (M i n d)

言葉を換えるならば、心の在り方、メンタルと言い換える事が出来ます。トレードでどのようなメンタルが良いかという、勝っても負けても自分のルールを守り続ける精神状態を維持することが大切です。

まず、メンタルが強固でも相場で勝つことはできません。相場で勝つためには相場で勝てるやり方が前提になります。相場で勝てるやり方を持っているなら、そのトレード方法をやり続けるだけです。相場で勝つというイメージは人それぞれで異なっています。

勝率 90%以上を求めるのか

1回のトレードの利益率が 20%を超えるようなトレード方法を求めるのか

自分が望む状態が高ければ高いほど勝ち続けることが難しくなるので、メンタルの維持も難しくなります。教習所に運転を習いに行く人が、F1 で優勝できるようなドライブテクニックを求めているのでしょうか？

ほとんどの人がそこまで求めていないのは常識を知っているからです。

教習所で習ったらこれくらいの運転技術が身につくんだろうなというのを周りで運転している人を見て肌感覚で知っています。

しかし、トレードでは勝ち続けることの常識を知らないし、周りにそんな人がいる環境は希です。なので、何を常識としてトレードに挑めばいいのか

負けた時にその負けが良い負けなのか、悪い負けなのかわかりません。

信じるものを失った時にメンタルは保てなくなります。

そして良いのか悪いのか判断できないうちにルールを変え、もっと儲かる方法はないかと探します。勝てない人は、このメンタル状態に振り回され、人が稼いでいると見たり聞いたりすると、いろんなやり方を試しさまよい続けます。

そしてその勝ちたいとする目的のハードルが高いほどたどり着くのが困難になります。

多くの人々が求めているのが、短期トレードでトレード回数が多く、勝率が高くて勝ち続けることです。そしてちょいちょい負けるのは許容しましょう。という上から目線です。

勝っている人は、常に自分が楽にトレードが出来る状態で、自分の手法を守ってやっています。楽にトレードが出来る状態とは、PCが3台あって、モニターが20台くらいあり、どんなチャンスも見逃さないということではなく、「トレード判断が楽に出来る時間足でトレードしている」と考えてもらっても良いかもしれません。

スキャルピングが良いですか？

稼ぐことに意識を持つと、自分に無理なトレードをしてしまい、メンタルを保つことができません。トレード回数は自分が思っているより少ないほうが楽にトレードできる方がほとんどです。

その都度判断が必要なので、勝てない人がスキャルピングなどの瞬間的な判断が必要なトレードは余計落ち込むだけです。

時間足が長すぎてもメンタルを保つのが難しいですが、短すぎても難しいものです。楽に相場が判断できて、1回のトレードに命をかけたり興奮しすぎないスタンス。このスタンスで手法を決めてトレードをやり続けてみると冷静に判断できるようになってきます。

そして一定期間トレードをやり続けてどれだけ勝ったのか負けたのか確認してみましょう。トータルで少しでも勝てていれば問題ありません。それをやり続けて改良を加えていくことです。

勝てるということを知らないままやり続けるのは、メンタルを維持するのは難しいでしょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

## ◎知識 (Knowledge)

知識とは何でしょうか？この言葉を言い換えると「情報」とも言えるでしょう。

あるゲームをプレイするとして、どうやったら楽しめますか？まずは取扱説明書を熟読し、遊び方を覚えるでしょう。

車の運転は、どうやったら出来ますか？どれがアクセルで、どれがブレーキで、どう操作したら動くかを教習所等に行き、学ぶ筈です。

もし何も知らずにやってしまったら、楽しめないばかりか非常に危険です。知識は力だという言葉もありますが、遊び方や操作方法をしっかりと理解しておく事が、自分に有利に働く事でしょう。



それでは投資ではどんな事を知っておく必要があるのでしょうか。

次に、知っておくべきキーワードを挙げてみました。

- ・為替の世界の仕組み
- ・口座の作り方
- ・入出金の方法
- ・取引プラットフォームの使い方
- ・投資用語
- ・分析方法

これらの他にもあるかと思いますが、最低限、これだけは必要だと思います。そのゲームがどんなルールで成り立っているかを、しっかりと覚えておく必要があります。

[▲目次へ戻る▲](#)



## ◎技術 (T e c h n i c a l)

宮崎駿作品の中で、『紅の豚』というアニメーションがあります。

その作品中、こんな名台詞があります。「飛べない豚は、ただの豚だ」これにはどんな意味があるのでしょうか？

豚を出していますが、豚が飛ぶから初めて「価値がある」と言えるのであって、飛ばなければそこに「価値はない」と言えます。※あくまで個人的な解釈です（笑）。

豚が飛ぶからこそ、その豚の価値が上がるのです。物知りだからと言って、それだけでお金は運ばれて来ません。知っているだけでは、まだ不十分なのです。

獲得した知識を技術に昇華出来て初めて、知識が生きてくるのです。それは実行できる力と言えるでしょう。やれる力なのです。

このように、投資で儲ける為の三原則である「マインド」、「知識」、「技術」を揃えて初めて、投資で利益を上げる準備が整ったと言えるでしょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第3章 : (5) —— 相場で儲けられる人と儲けられない人の違いとは？ ——

—

投資の世界には、2種類の人種しかいません。「儲ける人」と「儲けられない人」です。ところが、その人種の分布は、非常に偏っています。

ここでも、パレートの法則が成り立ちます。

つまり、儲ける人は全体の2割。儲けられない人は残りの8割なのです。「儲ける人」に入るために、「儲けるようになれる人」と「儲けられない人」の違いは、どこにあるのでしょうか？

[▲目次へ戻る▲](#)

### ◆儲けられない人

- ・迷ってうじうじトレードしている。
- ・自分自身が見えない。
- ・自分の運用について考えていない。
- ・理論と実践が噛み合わない。
- ・自分の理論を突き詰めて行く努力をしない。
- ・研究熱心でもない。
- ・ダメな所が分かっているのに直さない。
- ・そして、妥協し、諦めて、それから何とか儲けようという根性もなく、  
更に最後は儲けられない自分に対して、そのまま放置しておくのでどうにもならない。
- ・常に、迷いがあり、何も考えず行き当たりばったり、その上、判断力がないので、  
常に為替の値動きを見て、遅れて判断しては売り場を逸して、常に悩んで悶々とする。

このような人はいつまでやっても損をします。

[▲目次へ戻る▲](#)

## ◆儲けるようになれる人

- ・機械的にトレードが出来る。
- ・研究熱心である。
- ・真摯である。
- ・何としても儲けたいという根性がある。
- ・他人の何倍も努力してみようとする。
- ・何度も何度も考える。
- ・何度、失敗しても這い上がる根性がある。
- ・ポジションを持つ前にその後の動きの可能性を想定して、
- ・ポジションを持った後は、値動きを見て対処して行く、  
これがしっかりはつきりしている。

努力して本当に儲けたいという気持ちが強ければ、誰でも儲ける人になれます。

互いの特徴を並べてみると、これらの違いが良く分かります。そして、この差が、相場に決定的な影響を与える事を理解しておく必要があるのです。

[▲目次へ戻る▲](#)

❖ 第3章 : (6) —— 投資を始める前に知っておくべき失敗例とアドバイス

——

投資を始める前に、幾つかの失敗例を知っておく事は大切です。明日は我が身ですから、しっかりと理解しておく必要があります。

失敗例から、今後失敗しないためにどうしたらよいかを見ていきましょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

### <失敗例 1> 「いつかは戻る」と損切り出来なかった

買値より下がっても相場はいつか帰って来るから、プラスマイナスゼロになるまでポジションをキープする作戦で売買していました。マイナス決済がなくなるので、最初の勝率は高かったですよ。

10戦8勝くらい。

でも、例のサブプライム問題の時、たったの1敗で資産の6割を減らす大惨敗でロスカットするハメになりました。



⇒ 大事なものは勝率ではなく、資産を減らさない工夫なのですね。高い勉強料でした。

[▲目次へ戻る▲](#)

## <失敗例 2 >高いレバレッジで全力勝負した

チャートが 1 時間で 2 円以上も上がり続けているのを見て、この勢いなら！、と資産 100 万円 を全額、200 倍のレバレッジで投資。

ところが、注文を入れた途端、ウソのようにチャートが反転。わずか 2 分でロスカットレートまで急落して、資産全額が飲み込まれてしまいました。

⇒ どんなにチャンスと思える相場でも、損失を許容出来ない金額で勝負しては痛い目を見る、という事ですね。

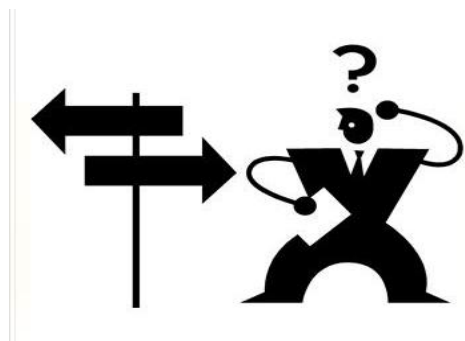
[▲目次へ戻る▲](#)

### <失敗例3>言われるがままトレードしていた

FXで儲かっているっていう先輩に言われるがまま売買していました。今が買いのチャンスだ！とか、相場が行き先を迷っているから手を出さない方が良い、とか。

でも、いつも言われてから行動するから、タイミングが遅れるんですよね。

先輩は儲かったけど自分は乗り遅れて損失を出したり、急な変動にどう対応するのが適切か、自分で判断出来なかったり…



結局、損ばかりが膨らんで、先輩との仲も険悪になってしまいました。

⇒ 今はFXの達人ブログを読んでも参考程度に留めて、自分の頭で考えた取引を心掛けています。同じ失敗をしない事がテーマです。

如何でしたでしょうか？

大切なのは、失敗をただの小話として「自分とは関係ないと思わない事」です。こういった失敗から何かを学び続けて行く事が勝ち続ける、稼ぐFX投資家にはとても重要です。

[▲目次へ戻る▲](#)



❖ 第3章 : (7) ☆★☆☆ 第3章のまとめ ☆★☆☆

- ・トレードは誰でも始める事は出来るが、誰でも儲ける事は出来ない。
- ・初心者はプロトレーダーのカモである。
- ・安く買って高く売り、高く売って安く買い戻す事で、投資の世界で利益を上げる事が出来る。
- ・投資で儲ける為には、「マインド」、「知識」、「技術」を身に付けておく事。一つでも欠けてはいけない。
- ・自分は儲けられる人間か、儲けられない人間か、その特徴を理解しておく。

[▲目次へ戻る▲](#)





**Part1 一流トレーダーへの道を進む為に**  
**第3章 投資の世界を知る**  
**株式会社チャートマスター**